

# イカナゴ（コウナゴ）情報 No. 1

－ 島牧沖における初漁の漁獲物を測定 －

道総研 中央水産試験場 資源管理部  
後志地区水産技術普及指導所 岩内支所

・ 4月27日時点で体長23mmが最も多く、20mm台が多く漁獲されました。前年（27mm）よりも小さいサイズが多くなりました。

## 調査の概要

2022年4月27日に島牧海域においてコウナゴの初水揚げがありました。初漁の漁獲物から標本を採集し測定しましたので、結果をお知らせします。島牧漁業協同組合をはじめ、調査にご協力いただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。

## 初漁日の体長組成

図は上側が今年の初漁日の体長組成、下側が前年の初漁日の体長組成です。

今年（令和4年）の漁獲物の体長サイズの範囲は16-34mmで、23mmのコウナゴが最も多くなっていました。次に27mmのコウナゴが多く20mm台が組成の中心となっていました。また、20mm以下のコウナゴも2割近く混獲されていました。

前年（令和3年）は体長サイズの範囲が17mm-34mmであり、27mmが最も多かったので、今年は前年よりも小さいサイズの割合が高くなっていました。

現在23mmの群は、2週間後には30mm台後半に成長すると考えられます。

今後も漁獲状況や漁獲物の体長組成の変化をモニタリングしていきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

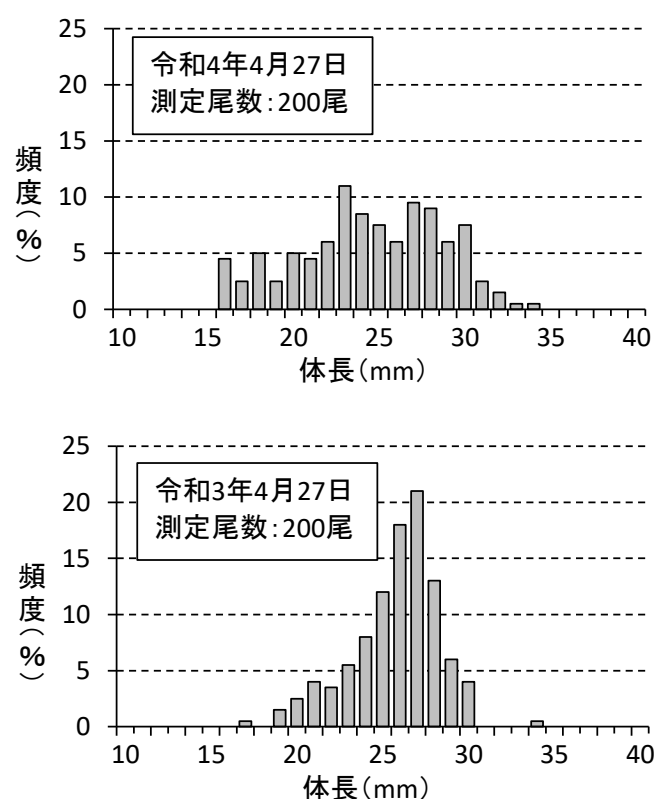


図 令和4年（今年：上）と  
令和3年（前年：下）の体長組成